

平成30年度 神津中学校経営方針

校長 立川 裕

教育目標
「自立」「自尊」

目指す学校像

学び合う学校 支え合う合校 認め合う楽校

目指す生徒像

- ◎ 明るく思いやりのある生徒【心の自立】 こ = 心豊かで、友人・家族を大切にする生徒
- 健康で自主性のある生徒【体の自立】 う = 運動能力を向上させ、たくましく生きるための体と心を作る生徒
- 意欲をもって学習する生徒【知の自立】 づ = 強い意志で学び続け、自分の将来に夢をもつ生徒

3本の柱

人権教育

- (1) 人権教育の教育活動
- (2) 啓発及び広報活動
- (3) 教職員の人権意識
- (4) 人権教育プログラムの活用

連携教育

- (1) 小中一教科兼務(英語)、出前授業、子どもみこし協力
- (2) 中高一出前授業、授業参観、合同部活動、生徒会交流、高校生みこし協力
- (3) 保中一職場体験、ボランティア活動
- (4) 地域—ゲストティチャー、ボランティア活動、行事への協力

特別支援教育

- (1) インクルーシブ教育
- (2) だれでも分かりやすい授業の実践
- (3) 学習支援員による授業の補助
- (4) 特別支援学級と通常学級と連携体制
- (5) キャリア教育としての進路指導

具体的な取組

学力向上

- (1) 学ぶ意味、学習意欲
- (2) できるまでやり抜く態度
- (3) 小学校の復習
- (4) 繰り返し学習、補習
- (5) 言語活動思考力・判断力・表現力の育成
- (6) 英会話、コミュニケーション能力の育成
- (7) 習熟度別少人数指導の工夫・改善
- (8) アクティブ・ラーニングの指導法
- (9) 中1ギャップの未然防止及び解消
- (10) 家庭学習の工夫
- (11) 新島地区学力コンテストへの取組

生活指導

- (1) いじめ・不登校・暴力事件「0宣言」
- (2) いじめを起こさせない、許さない指導
- (3) いじめの定義の理解、法律での禁止を確認
- (4) 不登校への積極的な対応、働きかけ
- (5) 神津中SNSルール徹底
- (6) 全教職員による生活指導の共通実践
- (7) 問題行動の未然防止・早期発見・早期対応
- (8) 保護者・地域・関係機関との連携
- (9) 報告・連絡・相談・確認・記録の励行
- (10) 子供を褒め、充実感、達成感、成就感、成功体験
- (11) 自己肯定感の育成
- (12) 心情を受け止め、傾聴する教育相談
- (13) スクールカウンセラーを活用
- (14) 体罰、不適切な指導にならない教員の指導
- (15) 生徒の人権を尊重、生徒への呼名に敬称

道徳教育推進拠点校、伝統・文化教育推進校、オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践

心の教育

- (1) 自ら挨拶
- (2) 自尊感情及び自己肯定感
- (3) 相手を思う、やさしさ
- (4) 考える道徳、議論する道徳
- (5) 地場産業を活用した取組
- (6) 人権週間の活用

オリパラ教育

- (1) 東京開催に向けての意識づけ
- (2) オリ・パラ週間の実践
- (3) 世界ともだちプロジェクト
- (4) パラリンピアン派遣授業
- (5) 校庭の芝生で運動・遊び
- (6) 日常的な体力向上の取組

部活動

- 文武両道の精神、自尊感情
- (1) 全員入部、全教員で指導
 - (2) 神津高校・地域連携・合同部活の実施



進路の実現

- キャリア教育の視点
- (1) 将来の夢・目標
 - (2) 地域・社会と関わり合う職業学習・職業体験

健康・安全

- (1) 食物アレルギー対応の実施
- (2) 地域と連携した食育指導
- (3) 家庭との保健指導の実施
- (4) 様々な災害の避難訓練
- (5) 村と防災体制、防災教育
- (6) 定期的な施設点検、修繕



研究・研修

- 人権教育、道徳教育、伝統・文化教育、オリンピック・パラリンピック教育
- (1) 全教職員の力を活かした研究
 - (2) 人権課題の研究授業
 - (3) いじめ、特別支援教育、評価等
 - (4) 専門の講師による指導・助言

情報発信

- 教育活動の発信、保護者・地域の理解と信頼、学校に協力と支援
- (1) 学校だより、学年だより
 - (2) 学校ホームページ更新

村民の自覚

- 村民との触れ合いや協力をする。
- (1) 挨拶の徹底、挨拶を自ら励行
 - (2) 村の行事への協力・参加
 - (3) 村の施策を理解、文化、行事を尊重及び大切に、一村民として活動して発展に尽力